

地域と連動し子どもの「生きる力」を 支え・育てるPTA活動の推進

田布施町立田布施中学校PTA

1 学校地域の概要



田布施町は、柳井市・光市に隣接し、南北約15.2 km、東西約8 kmの広がりをもつ町である。南方を瀬戸内海に面し、気候は温暖な人口約15,500人の町である。大部分が兼業農家で、近隣の市町への通勤者が多い。歴代内閣総理大臣のうち、岸信介、佐藤栄作の2名を輩出し、地域の教育に関する関心も大変に高いものがある。田布施中学校は、田布施町全域を校区としている学校のため、校区が広く、7割近くの自転車通学生がいる。

一町一校の中学校であり、地域や保護者の学校に対する期待は大きく、学校行事等には多くの保護者のみならず、地域住民も積極的に参加するなど、町全体として学校を盛り上げ、支えていこうという風土がある。

・生徒数（平成29年12月1日現在）
 1年 127名 2年 145名 3年 126名 合計 398名

・学級数
 1年 4 2年 5 3年 4 特別支援学級 3 合計 16学級

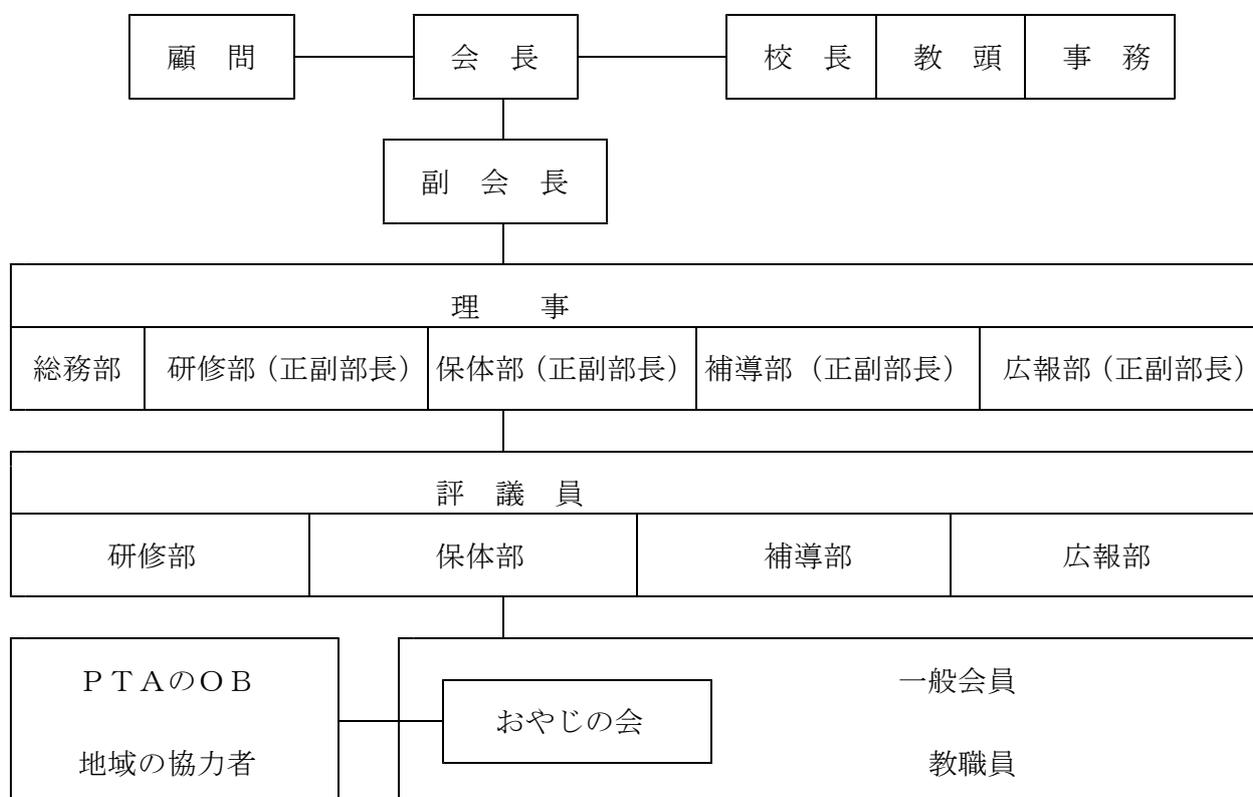
・生徒のようす

○素朴で真面目な生徒が多い。挨拶がよく定着しており、校外でも地域の方に挨拶をする姿がみられる。

○ボランティア活動などにも意欲的で、校内のみならず、町の各種行事のボランティアにも進んで取り組む生徒が多い。

○指示された役割等は、しっかり責任をもって果たすことができるが、自ら課題をみつけ自主的に行動しようという主体性の育成が今後の課題の一つである。

2 PTAの組織について



田布施中学校には、町内4つの小学校から子どもが入学してくる。小規模校から中規模校までさまざまな規模の学校であり、そのためPTAの役員を決定するにあたっても小学校単位で選出している。

各小学校から理事を選出し、その中から会長・副会長を決定するとともに、総務部及び4つの専門部に分かれる。総務部は会長・副会長・校長で構成され、全体の企画・運営及び事業を行う。また、副会長・理事及び評議員はそれぞれ各専門部に所属する。各部はそれぞれ部長・副部長を選任して、各部の事業計画にもとづき、活動の推進にあたっている。

さらに、父親の活動の場として、「おやじの会」を組織しており、特に文化祭のバザーとして「うどん」の提供が伝統行事となっており、PTAのOBや地域の方も巻き込み、学校になくってはならない活動として定着している。

・各部の活動方針

○総務部

- ・会員相互の親睦を図り、会員の意向を反映した運営をめざす。
- ・学校・家庭・地域との協力体制を強化し、組織の定着とその円滑な活動をめざす。

○研修部

- ・「たくましい田布施っ子」の育成をめざした家庭教育のあり方を研修し、実践する。
- ・和気あいあいのPTA活動にするため、親睦行事で会員相互の連帯を深める。

○保体部

- ・運動をとおして、会員相互の親睦と融和を図り、あわせて体力の増進に努める。
- ・健康教育の大切さを理解し、好ましい環境の醸成に努める。

○補導部

- ・会員が一致協力して、「どの子もわが子」をモットーに「愛の一言」運動を推進し、学校との連携を保ちながら、交通安全と非行防止に努め、健全な生徒の育成を図る。
- ・安全で安心できる環境・防犯対策づくりを推進するため、登下校時の見守りや保護者への啓発等の活動をとおして、生徒の安全確保に努める。

○広報部

- ・情報・広報活動の充実・深化を図り、会員相互の連帯を深める。

3 研究テーマについて

地域と連動し子どもの「生きる力」を支え・育てるPTA活動の推進

田布施中学校PTAでは、地域と連動してのPTA活動の推進として、親子で行う環境美化活動・運動会での特設の地域種目・文化祭での各種バザー活動・子どもの生きる力を育むための教育講演会など各種事業を、地域の皆さんにも参加していただき、実施していきたいと考えている。

PTAは、総務部・研修部・保体部・補導部・広報部から成っているが、この各部がそれぞれ役割を分担し、地域の力である学校運営協議会および同窓会と連携のもと、各種のPTA活動を進めていきたい。

子どもの「生きる力」を育てるためには、学校・家庭のみならず、地域住民からの支援は非常に大切である。そのために、特に今年度、地域の皆さんが敷居を高く感じずに学校に来ていただけるようなPTA活動を重視していきたいと考えている。

環境美化活動では、参加していただいた地域の方には、お茶を1本配り感謝の意を伝え、今後も気軽に学校に足を踏み入れていただくようお願いしたい。文化祭バザーでは、現在は地域住民となっている歴代PTAのOBを含めた大々的な昼食バザー及び遊休品バザーを実施し、子どもへの教育活動の支援資金をつくと同時に、学校と地域の連携を深め、地域教育力を高めたいと思っている。また、教育講演会は、全国的な知名度を有し地域全体を動員できる、子どもにも大人にも「生き方」を語れる講師を招聘したいと考えている。この講演会をとおし、PTA会員のみならず、大半が田布施中学校の卒業生で占められている田布施町民の多くに学校に入ってもらいたい。この講演会は今年度、60回目の節目の卒業式を迎える田布施中のPTA活動の大きな行事として、歴代同窓生をも巻き込んだ企画として立案した。

これらの活動は、必ずやPTA活動の活性化・地域教育力の向上、そして何より子どもたちの「生きる力の育成」に大きく資するものと確信し、標記テーマを設定した。

4 活動内容

①親子奉仕活動 実施日：平成29年6月18日（日）



年に一度、PTAが中心となって保護者と生徒による環境美化活動である「親子奉仕活動」を実施している。梅雨どきでもあり、時期の検討も行ったが、5月はさまざまな行事が多く、6月実施は2年連続となった。昨年は雨で中止となったが、今年は天候に恵まれ、気温は高い中であったが、無事実施された。毎年多くの保護者が参加し、自分の子どもの担当している区域と同じ区域の美化活動を行っている。昨年からは学校運営協議会委員や町の広報誌をとおして地域の方にも参加を呼びかけている。

校地内はもとより、校外のテニス場や通学路も美化活動の範囲として実施している。わずか1時間ほどの時間ではあるが、見違えるようにきれいになり、学校と親と地域が皆で、地域の中学校を美しくしていく活動として、今後も継続していきたい。



②運動会 実施日：平成29年9月10日（日）



運動会では、PTAは保体部による駐車場誘導、補導部によるゴミ拾い、広報部による撮影、副会長による来賓受付・接待など、さまざまな協力を行っている。また、例年、PTA種目として「綱引き」を実施している。保体部が中心となり参加の呼びかけを行い、子どもが「赤」・「青」・「黄」・「白」の四隊に分かれて競技するため、基本的に子どもの所属する色に分かれて参加してもらっている。多くの参加者により、大変な熱戦が繰り広げられ、子どもたちの運動会を盛り上げるとともに、PTA会員同士の良き親睦の場となっている。



さらに、昨年からPTA種目とは別に、地域種目として「玉入れ」を実施している。コミュニティスクール推進の一環として、地域の方に参加を呼びかけ、保護者のみならず、地域住民、PTAのOB、卒業生、生徒の弟妹など、老若男女幅広い年齢層が参加し、これも運動会の盛り上げに大いに貢献している。

中学校がPTAとともに、さまざまな部分で地域の力を借りる場面が今後増えてくると予想される。このように気軽に学校の敷居をまたいでもらい、学校に入ってこられる機会を今後もPTAと学校の連携のもと、つくっていきたいと考えている。

③文化祭 実施日：平成29年10月29日（日）

文化祭では、PTAが総力をあげて、子どもたちの支援のため、各種バザーに取り組んでいる。遊休品バザーでは、学校からの協力お願い以外にも、町広報誌なども利用して、家庭及び地域に遊休品出品のお願いをしている。おかげで、いろいろな地区で遊休品が求められているこの時期に、毎年多くの品物が集まり、販売することができている。また、各種のランチバザーではフランクフルト・おにぎり・サンドイッチ・ジュースなどをPTAが仕入れて販売したり、コーヒーをつくって販売している。

それらの中でも、長年の歴史をもち、歴代PTAのOBを含む「おやじの会」が運営しているうどんバザーは、文化祭になくしてはならない一大行事になっていて、この日のためにお父さん（おやじ）たちは、何日も前から集まり、準備をしている。味も毎年、大好評で、うどんを求めて、中学生だけでなく、参観に来られた家族・地域の皆さんも長い列をつくっている。それらの姿を目の当たりにして、お父さんたちは、また来年も頑張ろうと、一年後の再会を楽しみにし、この日の活動を終えていく。学校の中の一つの行事でありながら、地域行事の一つとしても今後も続けていきたい活動である。



④長谷川穂積氏講演会 実施日：平成29年11月4日（土）

研修部の研修会として、プロボクシングで世界チャンピオンに、バンタム級、スーパーバンタム級、フェザー級の三階級で輝いた長谷川穂積さんを招いて講演会を開催した。この会は、地域公開日として、新聞記事掲載やチラシ配付等をおして広く地域全体にも実施について発信している。PTAとの共催のかたちで、学校運営協議会、同窓会の協力を得て、学校を越えた「地域行事」として実施することができた。当日は町内のみならず、町外からも大勢の方が田布施中学校に足を踏み入れてくれた。



長谷川さんは、自らの波瀾万丈、紆余曲折の半生を子どもにも大人にも伝わることばで熱く語ってくれた。講演会は、進行役の教頭先生との対話形式で、途中現役時代の名勝負の映像を挟みつつ進んでいった。中学時代は大きな夢もなく、目立つこともあまりない中、卓球部に所属していたこと、プロボクサーになっても最初は芽が出なかったが、自分を信じ努力を続けたこと、チャンピオンの座から陥落し、力が衰えてからも王座復帰に向け諦めず努力を続けてきたことなど聴く話一つひとつが、「頑張れば自分たちにもできる」という示唆を与えてくれた。また、同じ中学生の子どもをもつ父親としての話も聴くことがで



き、保護者としては大変参考になる会であった。

最後には質問コーナーのほか、長谷川チャンピオンのパンチを受ける体験や、チャンピオンのパンチをよける体験などのコーナーがあり、生徒の代表者や希望する地域の方が体験し、その凄いパンチに会場は大いに沸き立っていた。

今年度の研究テーマである「地域と連動し、子どもの生きる力を支え、育てるPTA活動の推進」をかたちとして表現するとともに、長谷川さんの人間的魅力が田布施町に伝わるとてもよい講演会となった。



⑤給食試食会・学校保健安全委員会 実施日：平成29年12月1日（金）



給食試食会を保体部が中心となって行った。この日の献立は、「ホキのみりん焼き、おごうさん団子汁、切り干し大根の炒め煮、麦ご飯、牛乳」で、子どもが毎日、食べている給食をおいしくいただき、皆、完食となった。しっかりと栄養バランスのとれた献立を、食材からこだわって、給食センターの方が考えているということを実感することができた。この日は、準備・配膳・片付けも、すべて日頃子どもたちがやっていることと同じように保護者も行き、子どもの学校生活の一部にふれることのできた有意義な時間であった。



また、給食の試食後には、PTAのみならず、学校運営協議会委員も交えて、学校保健安全委員会を開催し、学校側からの保健・安全・体育・教育相談・食育に関する方針・体制等について説明を受けた。せっかくの機会であり、質疑応答も活発に行われ、PTAと学校の間でさまざまな共通理解がなされてとてもよかった。その後、『大人の知らないネット社会～子どものために、今できること～』と題し、柳井地区広域消費センター相談員の岡本浩司さんの講話を聴講した。常に大人の先を行き、最新のネット環境を使いこなす子どもたちに迫っている危険について、具体的でわかりやすい丁寧な話を聴くことができ、本当に参考になった。「大人だけ」知らないでは、子どもたちを守れない。「大人が」知ることで、見えにくいネット上の危険から子どもたちを守っていく必要性を強く感じた講話であった。

⑥田布施町内一周駅伝大会 実施日：平成29年12月10日（日）

田布施町内20.3kmを11の区間に分けて実施する駅伝大会に、田布施中PTA（チーム名『ダディ田布中』）として、参加した。日頃の運動不足を少しでも解消するためと親睦の意味をこめて昨年に続いての出場となる。この日に向けて、お父さんたちは日々練習してきたが、目標はあくまでも完走であり、けがなく皆が楽しく走れたことが何よりの収穫であった。この駅伝大会に参加することにより、子どもたちや地域の皆さんとも一緒に交流することができるため、今後もお父さんたちの健康上の問題がないかぎり、参加を呼びかけていきたいと思っている。



5 成果と課題

一年間のPTAの活動について、PTA役員と学校側が垣根なく、ざっくばらんに意見交換できたことにより、さまざまなことをスムーズに行うことができた。何より「繋がっていく」ということが大切なことであり、些細なことでも、役員が学校に顔を出して、先生方と対話することで、今年度PTA活動を円滑に進めることができたと思っている。

また、今年度の研究テーマとした『地域と連動し子どもの「生きる力」を支え・育てるPTA活動の推進』を常に念頭に置いて、活動を行ってきた。今回まとめた「親子奉仕活動」、「運動会」、「文化祭」、「長谷川穂積氏講演会」、「給食試食会・学校保健安全委員会」、「田布施町内一周駅伝大会」は、すべて地域と連動し、あるいは地域を巻き込み、あるいは共に参画してすすめてきたものである。学校がコミュニティスクールとして、地域に開かれている現在、PTAとしても更なる地域との連動を模索していきたい。その成果を、いかに子どもたちに還元していくかこそが、今後の課題となっていく。